

第1回 菊川流域委員会 議事概要

1. 開会

2. 委員紹介

3. 挨拶

- ・ 挨拶（中部地方整備局河川調査官）

4. 議事

(1) 菊川流域委員会の規約について

- ・ 規約案に対して、委員の承認を得た。

(2) 菊川水系河川整備計画の進め方について

- ・ 主に次のような意見をいただきました。

No	委員からの質問内容	事務局からの説明内容
①	河川整備計画策定の進め方について、2段階に分けて進める理由は何故か	たたき台に対し住民および学識経験者から意見聴取を行ったのち、整備計画の原案を作成するため

(3) 菊川水系河川整備基本方針の策定について（報告）

- ・ 主に次のような意見をいただきました。

No	委員からの質問内容	事務局からの説明内容
②	加茂地点における正常流量は0.5m ³ /sとなっているが、その流量から農業用水として0.32m ³ /sを取水するというのか	加茂地点における正常流量0.5m ³ /sは、下流で農業用水として取水される0.32m ³ /sも考慮した流量となっている
③	計画高水流量決定時の降雨の確率規模はどのくらいか、また洪水波形は何か	確率規模は流量確率規模評価でW=1/100である 計画高水流量の洪水波形はS57.9洪水の波形である 次回、説明資料を準備する
④	各地点の計画高水流量はどのように算定されたものか 菊川本川と下小笠川などの支川の流量ピーク時における時間的ズレを考慮しているか	各地点の流量は流出計算結果の最大値で整理している 本川・支川の流量ピークの時間差については、次回、説明資料を準備する

(4) 菊川の概要及び現状と課題について

- ・ 主に次のような意見をいただきました。

No	委員からの質問内容	事務局からの説明内容
⑤	菊川上流の流下能力が不足している原因は床止めの影響によるものか	上流区間の流下能力不足については、床止めと橋梁のせき上げによる水位上昇などが要因である
⑥	菊川の計画高水流量を決定した際に、市街化の進展を考慮した流出率で検討しているか	近年の市街化を考慮した計算をしている
⑦	洪水想定氾濫計算の条件として、S57.9洪水型ではなく、S33.9洪水型を想定外力として用いているのは何故か	想定氾濫区域は、工事実施基本計画(想定外力; S33.9洪水型)に対する整備効果を示している
⑧	計画高水流量流下時の牛淵川と黒沢川の水位をみると、黒沢川の水位が低くなっているが、時差を考えているためか	次回、説明資料を準備する
⑨	菊川の河床材料データでは、菊川下流部でも1cmを超えるような粒径が見られ、上下流でほとんど変化がないが、何故か	次回、説明資料を準備する
⑩	「菊川からの取水農業用水 最大取水量 約2.6m ³ /s」と整理されているが、菊川から取水しているという意味か	菊川頭首工および嶺田井堰より約2.6m ³ /s取水している
⑪	排水機場は3つということだが、排水能力はどのくらいか	次回、説明資料を準備する
⑫	河川利用について、年間の利用者数はどのくらいか	次回、説明資料を準備する
⑬	洪水時の情報提供にあたり、気象庁とはどのように連携しているのか	次回、説明資料を準備する
⑭	施設の老朽化について、流域委員会で議論できる資料は整理されているか	次回、説明資料を準備する
⑮	整備計画河道の断面もしくは水位を整理した資料はあるか	整備計画河道については現在検討中であるため、検討後に示す
⑯	スポーツ利用について平成18年度の調査で急激に増えているが、マリナーの整備と何か関係しているか	スポーツについては、青木前広場が平成14年度に整備されており、それがスポーツ利用として計上されたものと推定される
⑰	洪水想定氾濫区域内資産額の根拠は何か	次回、説明資料を準備する
⑱	ショートカットする前と後での流出形態の違いを把握しているか	次回、説明資料を準備する

(5) 菊川水系河川整備計画の策定に向けた今後のスケジュール(案)について

- ・ 今後のスケジュール(案)について確認されました。

5. 閉会